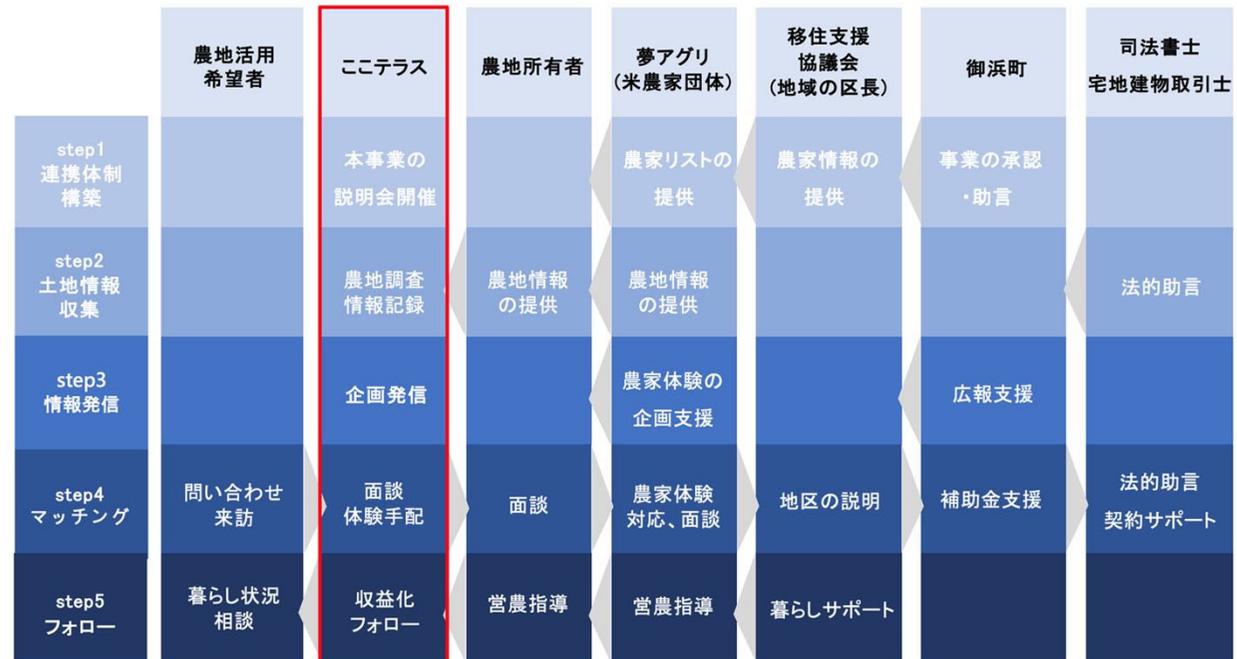


所有者不明土地対策と地域農業活性化の統合的アプローチ(三重県御浜町 一般社団法人ここテラス)

対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
三重県御浜町の尾呂志地区を中心とした山間部	棚田が広がる美しい山村の風景を有しており、「米作り」に適した環境である。「風伝おろし」という神秘的な自然現象に加え熊野古道「風伝峠」といった観光資源がある。	若年層や子育て世代の流出および農業の後継者不足が深刻化し、耕作放棄地や所有者不明土地が増加するリスクがある。御浜町山間部は、農地情報の体系的な管理が不十分なため、農地の効率的な活用や新規就農者とのマッチングが困難。	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地の利用状況等に関する関係者間での視覚的な情報共有、課題整理 ● 耕作放棄地の可能性のある農地の情報収集・ランク区分（所有者等ヒアリング） ● 農地の状態、所有者情報、後継者有無、売買条件等のデータベース作成 ● 耕作放棄地の予防と農業の後継者確保を目的とした「米農家体験」の企画・実施 ● 就農希望者の発掘（「仕事旅行社」等を活用した「米農家体験」の掲載） ● マッチング支援、フォローアップ

事業内容・スキーム

- 若者層流出や農業後継者不足に起因する耕作放棄地の増加、および所有者不明土地の増加等の課題に対し、地域の米農家団体「夢アグリ」との連携を通じて、後継者不足となっている農地の情報収集を実施。
- GISとNotionを活用した農地情報の一元管理、デジタル媒体と移住相談窓口を駆使した農業継承希望者の募集、「米農家体験」や「暮らし体験」によるマッチング支援を組み合わせた包括的なスキームを構築する。
- 移住支援協議会・御浜町・専門家と緊密に連携することで、耕作放棄地発生の防止と農地活用および移住促進を統合的に推進する。



モデル事業による取組成果

農地情報の一元管理

デジタルツール（GIS、Notion）と対面でのコミュニケーションの併用により、農地に関わる具体的なデータベースを構築し、農地情報の一元管理を実現。農地の位置情報や所有者情報、利用状況等の検索・共有が容易になった。

後継者不足の農地の特定

地域の農地所有者を対象に聞き取り調査を実施し、後継者不在の農地を特定した。特に、相続未了や複数の相続人が存在することで連絡が困難な農地が多数確認された。本調査を通じて、今後の農地管理やマッチング活動の優先順位を明確化することができた。

所有者との関係構築

農地所有者との信頼関係を深めることができ、今後の協力や情報提供の基盤を築くことができた。

一貫した事業スキームの構築

市町村（農林水産課等）、地域団体、民間事業者などの多様な主体が参画することで、耕作放棄地等の農地の掘り起こしから利用希望者とのマッチング、就農支援まで一貫したスキームを構築できた。「所有者不明土地利用円滑化等推進法人」等、法制度に基づく新たな担い手を活用する場合も、連携の調整役（コーディネーター）を中心とした体制を確立することが効果的だと感じた。